

# しょうれん 力障連「わ」かい報ほう

<http://challenged-catholic.net/> No.87 2019.10.15 発行

## もくじ 目次

きょうこう 教皇フランシスコ	らいにち 来日を	むか ともに	お迎え	しましょ	う
きょうこうさま フランシスコ	かんしゃ 感謝	れいじょう 礼状			4
きょうこうさま フランシスコ	らいにち 来日に	しょうがいしゃ あわせて	しょうがいしゃ 障害者の	かいさい ための	5
きょうこうさま フランシスコ	らいにち 来日	ようぼうしょ ミサへの	ようぼうしょ 要望書		7
だい 第13期	だい 第3回	かいやくいんかい 役員会	じむきょく 事務局長	こいけまさお 小池政男	8

二〇一九年十月十五日発行（毎週火曜日）AJU一三六二五号 一九七九年八月一日 低料第三種郵便物承認 定価一〇〇円

## フランシスコ教皇様来日特集号

きょうこうさまらいにちとくしゅつごう

## 東京、長崎、広島を訪問



## 教皇 11月23日来日

## カトリック新聞

カトリック新聞社  
〒135-8585 東京都江東区亀見 2丁目10番10号  
電 話 (03) 5632-4432 (代表)  
(03) 5632-4433 (編集)  
(03) 5632-4434 (広告)  
FAX (03) 5632-7030  
振替口座00170-4-196983番  
Eメール 営業 [enjoy@cwjpn.com](mailto:enjoy@cwjpn.com)  
 購読 [kodoku@cwjpn.com](mailto:kodoku@cwjpn.com)  
 広告 [kokoku@cwjpn.com](mailto:kokoku@cwjpn.com)  
URL [www.cwjpn.com](http://www.cwjpn.com) / [cwjpn.jp](http://cwjpn.jp)  
©カトリック新聞社 2019  
定価 1部 162円(本体 150円)  
手続費別添付(国内)  
1年(48回) 1974円消費税別  
半年(24回) 987円消費税別

すべてのいのちを守るため



PROJECT ALL LIFE  
POPE FRANCIS IN JAPAN  
23-26 NOVEMBER 2019

ローマ教皇、38年ぶりの来日。  
2019.11.23-26 東京・広島・長崎  
[www.popein.jp/2019](http://www.popein.jp/2019)

教皇来日 公式ポスター

# きょうこう らいにち むか 教皇フランシスコ来日をともに迎えましょう

にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎかい かいちよう えど とおる  
日本カトリック障害者連絡協議会 会長 江戸 徹

しゅ へいわ  
†主の平和

ひ わたし しょうがいしゃ りかい しえん こころ かんしゃもう あ  
日ごろより私たち障害者へのご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。

さんねん しょうがいしゃ りかい すず いま さべつ へんけん はいじょ あと  
近年、障害者への理解は進んできているところではありますが、未だ差別や偏見、排除は後を  
た  
絶ちません。

ねん がつ にち みぞう ひがしにほんだいにんさい しょうがいしゃ ひなんじょ せいかつ くるま  
2011年3月11日、未曾有の東日本大震災においては、障害者は避難所で生活ができない。車  
なか せいかつ ほんとうかい じたくかおく せいかつ よぎ しえんぶつし はいふぼしよ はいふ しょうさい  
の中での生活、半倒壊の自宅家屋での生活を余儀なくされ、支援物資の配布場所や配布の詳細が  
とど あんびかくにん わす さ すべ ひさいしゃ お かんなん なか はいじょ  
届かないなど、安否確認を忘れ去られる、全ての被災者が置かれている艱難さの中で、排除され  
るという状況がありました。

ねん がつ にち かながわけんさがみはらし つく い えん せんご  
また、2016年7月26日には、神奈川県相模原市「津久井やまゆり園」において、戦後  
さいだいきぼ さつじんじけん お にほん せいかいじゅう ひとびと しょうげき あた はんじん  
最大規模の殺人事件が起き、日本ばかりでなく世界中の人々に衝撃を与えました。犯人は  
じゅうどしんしんしょうがいしゃ よ なか やく た ふこう ひと き まった ていこう におく  
「重度心身障害者は世の中の役に立たない不幸な人」と決めつけ、全く抵抗のできない19人の  
いのち いっしゆん うば じけん せいさんせい こうりつせい ゆうせん ゆうせいしろう  
命を一瞬にして奪いました。この事件は、生産性や効率性が優先される優生思想にほかならず、  
しゃかいてき よわ たば ひと いま せいかつ しゃかい  
社会的に弱い立場にある人たちが、息をひそめて生活しなければならない社会などあってはなら  
ないはずです。

わたし しょうがいしゃ かな しず なか ねん がつ きょうこうさま ひげき みま  
私たち障害者が悲しみに沈む中、2016年7月にフランシスコ教皇様より、「この悲劇に見舞  
われたすべての人に寄り添うと約束します」とメッセージをいただき、また2017年11月5日の  
カトリック新聞には「障害のある人を受け入れる教会を」と題して全世界にメッセージを送っ  
ていただきました。私たちはこのメッセージに感動しました。常に障害のある人々、小さくされて  
いる人々に温かいメッセージを送ってくださるフランシスコ教皇様に心から感謝申し上げると共  
に、今回、日本を訪問されるという喜びの機会に「障害者のためのミサ」を開催していただけれ  
ばこれ以上の喜びはありません。

しょうがいしゃ う い きょうかい しょうがい ひと だれ はいじょ う  
障害者を受け入れる教会ではなく、障害のある人々を誰も排除することなく、ありのままを受け  
入れる教会となりますように、そしてすべての人は「生まれてきてよかった。生きていいん  
だ」と思えることのできる社会が私たちの願いです。

きょうこう しょうがい きょうかい だれ よろこ むか い しんたいでき  
教皇フランシスコは「カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならない、身体的または  
せいしんてき ちてきせいやく かみ で あ とお そういくふう ひつよう  
精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫する必要がある」また、  
きょうかい しょうがい ひとびと まも せつきよくてき う い あ だま どんかん  
「教会は障害のある人々を守り、積極的に受け入れるに当たって、“黙って” いたり、“鈍感なままで”  
いたりすることはできません」と仰いました。

しょうがい ひと はいじょ にんげんてき れいてき み す だれ よわ  
障害のある人を排除せず、その人間的、霊的なたまものを見過ごしてしまわぬよう、誰もが弱  
さの中で困難を抱えながら豊かな人生を歩んでいけるよう、教皇フランシスコ来日ミサに参加し、  
こころあら とも いの  
心新たに共に祈りましょう。

わたし しょうがい ふくいん つた すこ しゃかい なか もんだい かいけつ おも  
私たち障害のあるものも福音を伝え、少しでも社会の中にある問題を解決していきたいと思っ  
ています。今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

いの  
祈りのうちに。

# 皇 障がいのある人を 受け入れる教会を

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫

【バチカン10月23日CNS】カトリック教会は誰をも喜んで迎え入れなければならず、人々の身体的または精神的、知的制約が神との出会いを遠ざけることがないように創意工夫



10月21日、障がいのある人とその関係者の集まりで手話を使う教皇フランシスコ (CNS)

# フランシスコ<sup>きょうこうさま</sup> 教皇様<sup>かんしゃれいじょう</sup>への感謝<sup>かんしゃ</sup>礼状<sup>れいじょう</sup>

フランシスコ<sup>きょうこうさま</sup> 教皇様

2017年<sup>ねん</sup>12月<sup>がつ</sup>11日<sup>にち</sup>

日本<sup>にほん</sup>カトリック<sup>しやうがいしやれんらくきやうぎかい</sup>障害者<sup>かいちやう</sup>連絡<sup>え</sup>協議会<sup>と</sup> 会長<sup>と</sup> 江戸<sup>え</sup> 徹<sup>と</sup>

## † 主<sup>しゆ</sup>の平和<sup>へいわ</sup>

先日<sup>せんじつ</sup>の日本<sup>にほん</sup>で発行<sup>はっこう</sup>のカトリック<sup>しんぶん</sup>新聞<sup>しやうがい</sup>に「障害<sup>ひと</sup>のある人<sup>う</sup>を受け入れる教会<sup>い</sup>を」という見出し<sup>きやうかい</sup>でパ<sup>み</sup>パ<sup>だ</sup>様のメッセージ<sup>さま</sup>が掲載<sup>けいさい</sup>されました。これはパ<sup>さま</sup>パ<sup>さま</sup>様が教皇<sup>きやうこう</sup>庁<sup>ちやう</sup>福音<sup>ふく</sup>化<sup>いん</sup>推進<sup>かすい</sup>評議<sup>しんひやう</sup>会<sup>ぎかい</sup>の参加<sup>さんか</sup>者<sup>しや</sup>へ語<sup>かた</sup>られた言葉<sup>ことば</sup>でした。会議<sup>かいぎ</sup>の中で話し合<sup>な</sup>われたき<sup>はな</sup>っかけは、パ<sup>あ</sup>パ<sup>あ</sup>様の強い希望<sup>つよきぼう</sup>により話し合<sup>はな</sup>われたとのこと。それは日本<sup>にほん</sup>にいる私<sup>わたし</sup>たちカトリック<sup>しやうがいしやれんらくきやうぎかい</sup>障害者<sup>かつどう</sup>連絡<sup>お</sup>協議会<sup>お</sup>の活動<sup>はげ</sup>にとっても大きな励<sup>ほげ</sup>みとなりました。

1981年<sup>ねん</sup>ヨハネ・パウロ<sup>せいきやうこうさま</sup>Ⅱ世<sup>らいにち</sup>教皇<sup>おり</sup>様が来日<sup>しんこう</sup>の折<sup>も</sup>に、カトリック<sup>しやうがいしやだんたい</sup>の信仰<sup>けつそく</sup>を持つ障害者<sup>しんこう</sup>団体<sup>も</sup>が結束<sup>し</sup>し「日本<sup>にほん</sup>カトリック<sup>しやうがいしやれんらくきやうぎかい</sup>障害者<sup>そうせつ</sup>連絡<sup>い</sup>協議会<sup>わ</sup>」を創設<sup>い</sup>しました。そのお祝<sup>ざいじゆう</sup>いにローマ<sup>にほん</sup>在住<sup>にほん</sup>であった日本<sup>にほん</sup>の神父<sup>しんぶさま</sup>様<sup>きやうりよく</sup>のご協力<sup>せい</sup>で、ヨハネ・パウロ<sup>せい</sup>Ⅱ世<sup>どうふう</sup>に同封<sup>か</sup>の「わ」を書いていただき<sup>か</sup>ました。この意味<sup>い</sup>はアジジ<sup>い</sup>の聖<sup>せい</sup>フランシスコ<sup>わ</sup>の「Pax et Bonum -和<sup>ぜん</sup>と善<sup>なか</sup>」の中<sup>ひと</sup>の一つ<sup>ことば</sup>の言葉<sup>お</sup>で、大<sup>お</sup>いなる祝福<sup>しゆくふく</sup>のプ<sup>い</sup>レゼント<sup>み</sup>となりました。

そして、私<sup>わたし</sup>たちは「ミサ<sup>かんぜんさんか</sup>への完全<sup>びやうどう</sup>参加<sup>うんどう</sup>と平等<sup>うんどう</sup>」をめざし運動<sup>うんどう</sup>してまいりました。

2017年<sup>ねん</sup>現在<sup>げんざい</sup>は、教会<sup>きやうかい</sup>の中<sup>なか</sup>でも障害<sup>しやうがい</sup>があるからという理由<sup>りゆう</sup>で差別<sup>さべつ</sup>されることは少<sup>すく</sup>なくなりました。障害<sup>しやうがい</sup>があっても教会<sup>きやうかい</sup>の中<sup>なか</sup>で同じ仲間<sup>おな</sup>として発言<sup>はつげん</sup>もできるようになりました。

今年<sup>ことし</sup>、日本<sup>にほん</sup>カトリック<sup>しやうがいしやれんらくきやうぎかい</sup>障害者<sup>にほんじゆう</sup>連絡<sup>きやうかい</sup>協議会<sup>きやうかい</sup>は日本<sup>にほん</sup>中の953の教会<sup>きやうかい</sup>へ「あなた<sup>きやうかい</sup>の教会<sup>しやうがい</sup>には障害<sup>しやうがい</sup>者がいますか」という趣旨<sup>しゆし</sup>のアンケート<sup>おく</sup>を送<sup>おく</sup>りました。その回答<sup>かいとう</sup>34%の中<sup>なか</sup>で、障害<sup>しやうがい</sup>者<sup>しやうがい</sup>はいないと答<sup>こた</sup>えた教会<sup>きやうかい</sup>は70教会<sup>きやうかい</sup>22%でした。

障害<sup>しやうがい</sup>者がいると答<sup>こた</sup>えた中<sup>なか</sup>でも障害<sup>しやうがい</sup>者<sup>しやうがい</sup>とは誰<sup>だれ</sup>なのか、医療<sup>いりやうてき</sup>的に考<sup>かんが</sup>えた障害<sup>しやうがい</sup>だけなのかなど、言葉<sup>ことば</sup>の意味<sup>いみ</sup>するところを求め<sup>もと</sup>られていました。このアンケート<sup>しやうがいしや</sup>は「障害<sup>しやうがい</sup>者の定義<sup>ていぎ</sup>」ではなく、何<sup>なに</sup>が障害<sup>しやうがい</sup>であるかを共同体<sup>きやうどうたい</sup>の中<sup>なか</sup>で考<sup>かんが</sup>え汲<sup>く</sup>み取<sup>と</sup>っていたいただきたいという趣旨<sup>しゆし</sup>でもありました。その中<sup>なか</sup>でパ<sup>さま</sup>パ<sup>う</sup>様の嬉しいメッセ<sup>つた</sup>ージ<sup>しやうがい</sup>が伝え<sup>ひと</sup>られました。「障害<sup>う</sup>のある人<sup>い</sup>を受け入れる教会<sup>きやうかい</sup>を」と。

障害<sup>しやうがい</sup>者<sup>しやうがい</sup>を受け入れる教会<sup>しやうがい</sup>ではなく、障害<sup>しやうがい</sup>のある人<sup>ひと</sup>をだれも排除<sup>はいじよ</sup>することなくありのまま受け入<sup>う</sup>れる教会<sup>い</sup>です。とまで言<sup>い</sup>われた意味<sup>いみ</sup>は、私<sup>わたし</sup>どものアンケート<sup>しゆし</sup>の趣旨<sup>しゆし</sup>でもあるのです。パ<sup>さま</sup>パ<sup>さま</sup>様がおっしやっていました「どんな深刻<sup>しんごく</sup>な困難<sup>こんなん</sup>さにあっても、困難<sup>こんなん</sup>を伴<sup>ともな</sup>いながらも、豊<sup>ゆた</sup>かな意味<sup>いみ</sup>のある人生<sup>じんせい</sup>をたどっているのです」というお言葉<sup>ことば</sup>と、弱<sup>じやく</sup>さも人間<sup>にんげん</sup>らしさの要素<sup>ようそ</sup>の一つ<sup>ひと</sup>だからというお言葉<sup>ことば</sup>に励<sup>はげ</sup>まされています。

障害<sup>しやうがい</sup>があるがゆえに、教会<sup>きやうかい</sup>共同体<sup>きやうどうたい</sup>の一員<sup>いちいん</sup>として、障害<sup>しやうがい</sup>が障害<sup>しやうがい</sup>でなくなるステップ<sup>い</sup>を一段<sup>いちだん</sup>一段<sup>いちだん</sup>とわかちあ<sup>い</sup>ながら登<sup>のぼ</sup>り、豊<sup>ゆた</sup>かな神<sup>かみ</sup>の国<sup>くに</sup>の実現<sup>じつげん</sup>に努<sup>つと</sup>めていく使命<sup>しめい</sup>をあらためて感<sup>かん</sup>じさせていただきました。

大きな感謝<sup>おお</sup>とともにパ<sup>かんしや</sup>パ<sup>さま</sup>様<sup>けんこう</sup>のご健康<sup>い</sup>をお祈<sup>いの</sup>りいたします。

ねん がつ にち  
2019年2月1日

# フランシスコ教皇様 来日にあわせて障害者のためのミサ開催への要望書

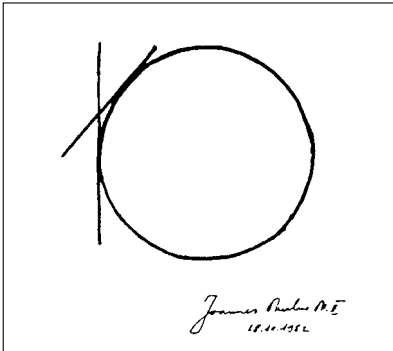
にほん しやうきょうぎかい かいちやう たかみ みつあき だいしきやうさま  
日本カトリック司教協議会 会長 高見 三明 大司教様

にほん しやうがいしやれんらくきやうぎかい かいちやう えど とおる  
日本カトリック障害者連絡協議会 会長 江戸 徹

しゆ へいわ  
†主の平和

ひごろ わたし しやうがいしや りかい しえん いただ こころ かんしゃもう あ  
日頃から私たち障害者へのご理解とご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

にほん しやうがいしやれんらくきやうぎかい い か しやうれん  
日本カトリック障害者連絡協議会（以下・カ障連）は1981年、国際障害者年にヨハネ・パウロⅡ世が来日され、これをきっかけに全国のカトリック障害者及び有志が集まり、1982年7月にカ障連が発足致しました。カ障連の機関紙の発行にあたっては、ヨハネ・パウロⅡ世よりカ障連へ「わ」という文字を書いて下さいました。



この「わ」の意味は、一人ひとりの人間が集まって一つの輪になり、心と力を合わせて一緒に進むことを、平和と完全を表す「円」の形で、そして私たちがキリストの精神によって歩むことを「十字架」の形で表されています。

どんなに重い障害があっても、「この世の中に生まれてきて良かった」と思える社会を目指し、そのためにイエス様のみことばから学び、ミサへの完全参加と平等をめざして活動している団体であります。

## 1 要望内容

2016年7月26日、神奈川県相模原市「津久井やまゆり園」で、戦後最大規模の殺人事件が起き、日本ばかりではなく世界中の人々に衝撃を与えました。犯人は「重度心身障害者は世の中の役に立たない不幸な人」と決めつけ、まったく抵抗の出来ない19人の命を一瞬にして奪いました。この事件は、生産性や効率性が最優先される優勢思想にほかならず、社会的に弱い立場にある人たちが、息を潜めて生活しなければならない社会などあってはならないはずです。

私たち障害者が悲しみに沈む中、2016年7月にフランシスコ教皇様より「この悲劇に見舞われたすべての人々に寄り添うと約束します」とメッセージをいただき、また2017年11月5日のカトリック新聞には「障がいある人を受け入れる教会を」と題して全世界にメッセージを送って下さいました。私たちはこのメッセージに感動し、早速12月11日付で教皇様に感謝の手紙を送

らせていただきました。(別紙参照)

常に障害のある人々、小さくされている人々に暖かいメッセージを送ってくださるフランシスコ教皇様に心から感謝申し上げますと共に、今回日本を訪問されるという喜びの機会に是非とも「障害者のためのミサ」を開催して頂きたく要望書を出させて頂きます。

障害者を受け入れる教会ではなく、障害のある人を誰でも排除することなく、ありのままを受け入れる教会となりますように、そしてすべての人が「生まれて来て良かった」と思えることのできる社会が私たちの願いです。

つきましては司教団からフランシスコ教皇様来日に際しまして「障害者のためのミサ」の開催をお願いして頂きたく要望書を出させて頂きます。何卒お取次ぎをいただきますようお願い申し上げます。

なお力障連では3年に一度全国各地で大会を開催させて頂いており、昨年は横浜教区におきまして梅村司教様や教区の皆さんの大変なご支援を頂き、素晴らしい横浜大会を開催して頂きました。そして次回の2021年の全国大会は、高見大司教様や教区の皆さんのご理解を頂き、長崎教区で開催させて頂くことになりました。

教皇様のミサにより全国に点在する障害者が力障連とつながり、福音を伝える良き使者となれますことを期待しています。

また「障害者のためのミサ」を開催して頂ける事になりました場合には、どの会場で開催されましても、私どもは全力を挙げ喜んで参加させて頂きたいと思っております。

また障害当事者の立場から障害者への対応、情報保障(手話通訳、要約筆記)などにつきましても、力障連として協力させて頂いただけの準備はございます。

何卒ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

祈りのうちに

## II 連絡先

〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15

カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会内

日本カトリック障害者連絡協議会

電話 052-852-1426

FAX 052-841-2225

ねん がつ か  
2019年9月3日

きょうこうさま らいにち ようぼうしょ  
フランシスコ教皇様 来日ミサへの要望書

しきょうきょうぎかい かいちょう たかみ みつあき だいしきょうさま  
司教協議会 会長 高見 三明 大司教様  
ちゅうおうきょうぎかい じむきょくたんとうしきょう おおつか よしなお しきょうさま  
中央協議会 事務局担当司教 大塚 喜直 司教様

にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎかい かいちょう えど とおる  
日本カトリック障害者連絡協議会 会長 江戸 徹

しゅ へいわ  
† 主の平和

ひごろ わたし しょうがいしゃ りかい しえん ところ かんしゃもう あ  
日頃から私たち障害者へのご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

わたし にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎかい (以下・カ障連) は、1981年ヨハネ・パウロⅡ世来日  
に合わせて、全国の障害者が「ミサへの完全参加と平等」を掲げ、自らの障害を考えるだけ  
でなくインクルーシブな教会を目指し、福音宣教することを目的に設立された団体で、30  
数年間活動をしてまいりました。そして2019年2月1日付で既に日本カトリック司教協議会  
会長 高見みつあきだいしきょうさま宛に「フランシスコ教皇様 来日にあわせて『障害者のためのミサ』  
開催への要望書」を提出させていただき、2017年9月27日付では「ユスト高山右近列福式につ  
いての要望書」にて、障害者のミサに対する対応についての要望を提出させていただきました。  
今年11月の教皇様来日のミサには是非とも、障害者がミサに参加しやすい状況となりますよう、  
ご配慮を何卒よろしくお願い申し上げます。

ぐたいてき がつ にち でんつう さま れんらく かいさいよていち とうきょう したみ  
具体的には、8月28日に電通ライブ様のご連絡で、開催予定地、東京ドームの下見をさせて  
いただきました。その時に視覚障害、聴覚障害、肢体障害、手話通訳、要約筆記、カ障連事務局  
も参加させていただきましたので、各当事者から見た上での要望書を添付させていただきます。  
この要望がお聞き届けいただければ、今後、全国の教会におきましても障害者を受け入れるミサ  
開催の理解が深まり、障害だけでなく、社会的に大きな困難を抱え、生きづらさのある人々と  
ともに歩む教会が広がっていく、大きな機会になると思います。

それは、フランシスコ教皇様は「障害のある人を受け入れる教会を」と語られ、私どもはこの  
言葉に本当に勇気をいただきました。カ障連としては、教皇様来日を機に、教皇様と障害のあ  
る人と共に、教皇様のお近くでミサを捧げられることを心から切望致します。またその時には  
共同祈願を捧げられることを要望致します。

なお、この「完全参加と平等のミサ」に向け、私どもに出来るお手伝いは全力を挙げてさせて  
いただきます。また長崎でも障害のある人々が喜びの内にミサに与られますよう、障害当事者の  
声の一つでも多く反映されますようご配慮をいただきたく、どうぞよろしくお願い致します。

いの  
祈りのうちに

## だい 第13期 き だい 第3回 かいやくいんかいほうこく 役員会報告

にってい ねん がつ にち にち  
日程：2019年6月29日～30日

かいじょう じょしごじゆなんしゅうどうかい  
会場：カトリック女子御受難修道会

### ① 横浜大会実行委員会報告

たいかいかいけいほうこく ざんきん しょうれん じたいかいかいさいちながさき たいかいじゆんびぎん きふ  
大会会計報告。残金をカ障連と次大会開催地長崎に大会準備金として寄付してくれることになりました。感謝です。なお司教団と横浜教区長様にお礼文を出させていただきました。

### ② 教皇様来日情報について

きょうこうさまらいにちじょうほう  
教皇様来日にあたり司教団と関係個所に障害者が参加しやすいようにと要望書を提出する事にいたしました。そして次回の機関紙「わ」に教皇様来日号特集号と致しました。

### ③ 加盟団体意見交換会報告を受けて提案課題の優先順位を決め管理実施を進めていく。またカ

しょうれん かめいだんたい ぎょうじよてい きょうゆうか はか  
障連と加盟団体の行事予定などの共有化を図る。

あら かめいだんたい う い しょうにん あ かたげんどう  
新たに加盟団体を受け入れるための承認の在り方検討。

きぼん とも い しゅうせい  
13期版パンフとして「共に生きる」を修正。

### ④ 次期大会開催地長崎大会の準備状況の報告をいただく。

### ⑤ 次回研修セミナー 2020年4月18日(土)中西由紀子氏「障害者差別解消法」として次回にス

けじゅる、かいじょうとう けんとう  
ケジュール、会場等を検討する。

### ⑥ 障害者差別解消法の手引き作成のための障害別のメンバー案等、検討。

### ⑦ 13期会計中間報告

### ⑧ 会報「わ」のスケジュール、内容検討。

### ⑨ 次回役員会開催（9月21・22日 南山学園研修センター）

## にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎかいほうこく 日本カトリック障害者連絡協議会会報「わ」

じ む きょく なごやししやうわくえほうちやう  
事務局：〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15

Tel：052-852-1426 fax：052-852-1422

ゆうびんきょくふりかえこうざばんごう どうふう ふりこみようし りよう  
郵便局振替口座番号：00100-7-31254（同封の振込用紙をご利用ください）

かい ひ ねんかん くち えん だんたい くちじょう こじん くちじょう  
会費：年間1口 1,000円（団体 10口以上 個人 1口以上）

かにゆうしやめい にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎかい  
加入者名：日本カトリック障害者連絡協議会